

| | | | |
|--------------|------------------|------------|------|
| 授業科目名 | 統合看護学実習(2300411) | | |
| 時間割名 | 統合看護学実習(70232) | | |
| 時間割担当 | 吉村雅世 | | |
| 実施期 | 前期 | 単位数 | 2 必修 |
| 曜日・時限 | 集中 | | |

授業の目標・概要

.目的

専門分野での実習を踏まえ、多様な看護の場において業務に即しながら、保健医療チームの一員として他職種と連携しチーム医療を実践するための看護実践能力を高める。

.概要

各専門分野別実習をふまえ、様々な看護の場において実際の業務に即した実習を体験する。専門分野の全領域の中から実践を深めたい特定領域を選び、テーマを決めて看護の実践を行う。

具体的内容は、通常の実習時間帯をずらした実習（夜間実習、早出・遅出実習など） 外来実習、救急センター実習等、複数の対象者を受け持つ実習、リーダーシップなどを含めた管理実習（病院・施設・地域等）を取り入れる。

学習の到達目標

1. 保健医療福祉チームにおける協働と連携の実際を知り、看護職としてメンバーシップやリーダーシップのあり方を考えることができる。
2. 様々な場におけるチームアプローチを含む看護活動を通して、看護をマネジメントできる能力を身につけることができる。
3. 専門的知識と安全・安楽・倫理的視点に根ざした確かな技術に基づいた看護を実施し、適正に評価することができる。
4. 専門職として、看護の役割と機能を明確にする。
5. 実践した看護を振り返り、看護観及び自己の課題を明確にすることができる。

授業方法・形式

臨地実習

成人看護学、老年看護学、精神看護学、母性看護学、小児看護学、在宅看護学のいずれかの領域で実習を行う。各領域で指定された実習施設でそれぞれ実習を行う。

授業計画

実習の進め方

- 1) 開講された中から個々の学生がその興味、関心に沿って一看護学領域を選んで履修する。
- 2) 自己の課題及び目標についてレポートを作成する。提出方法は担当教員の指示に従う。
- 3) 複数の対象者を受け持ち、援助を実施する。
- 4) チームの一員として継続看護を展開するため、早朝や夜間など可能な範囲で実習時間を変更する。
- 5) 実習場所におけるケアシステム（看護管理を含む）について説明を受ける。
- 6) 学生は、助言を受けながら、チームの一員として看護実践、評価を体験する。
- 7) 看護実践を振り返り、学びをまとめ、共有する。
- 8) 統合実習での学びを、定められた様式に沿ってレポートを記述する。

成績評価の基準

実習評価表にそって、実習記録、レポート、カンファレンス参加度から総合的に評価する。

準備学習・復習及び授業時間外の課題

課題達成のための基礎知識、予備知識を教科書や文献から事前に学習しておく。

履修上のアドバイス及び留意点

自己の実習目標を明確に持ち、目標達成の方法を主体的に計画し、実践してください。

基礎実習、成人・老年・母性・小児・精神・在宅の各領域の臨地実習で培った学びを統合させ、看護の実践能力を高めてください。

。

教材・教科書

参考書